

ペンケ沼のガン類

保全に向けた取り組み

ヒシクイ *Bean Goose* *Anser fabalis*

全長：78-100 cm

上面が暗褐色で下面は白っぽい。
嘴は黒く先端は橙色。大きい亜種
オオヒシクイがほとんどだが、
小さいの亜種ヒシクイも
少数が飛来する。



マガン *Greater white-fronted Goose* *Anser albifrons*

全長：65-86 cm

上面が暗褐色で下面は白っぽい
が黒斑がある。ヒシクイより
小さく、嘴は橙色でに根本
に白色部がある。



フライウェイ・ パートナーシップへの参加

東アジア・オーストラリア
地域に分布する渡り性水鳥
の重要生息地の国際的なネ
ットワークに参加し、他の
地域と交流しています。



↑2021年10月に登録

ペンケ沼・接続河川の清掃活動

バードライフ・インターナショナル東京の支援
により、ペンケ沼のゴミ清掃を行っています。
また、ペンケ沼との接続河川でゴミ調査を行
い、ゴミ問題の解決法を模索しています。



↑ペンケ沼のゴミ清掃



↑河川でのゴミ調査

水鳥の個体数調査

春と秋にガン・ハクチョウ類の個体数を調べる調査を
行っています。

発行・お問い合わせ

NPO法人 サロベツ・エコ・ネットワーク TEL：0162-82-3950

北海道天塩郡豊富町字上サロベツ8662番地

サロベツ湿原センター内

野鳥情報→

このパンフレットはバードライフ・インターナショナル東京
(PCPD)の助成金で作りました



利尻礼文サロベツ国立公園
ラムサール条約登録湿地 サロベツ原野
Flyway site network Sarobetsu Wetland (EAAF151)



水鳥たちの道の駅

ペンケ沼



ヒシクイとマガンは、額の色や腹面の斑
点の有無で見分けることができます。

ペンケ沼の重要性

場所

ペンケ沼は利尻札文サロベツ国立公園の中心に位置し、通常は人が近づけない場所にあります。



水鳥の渡り中継地

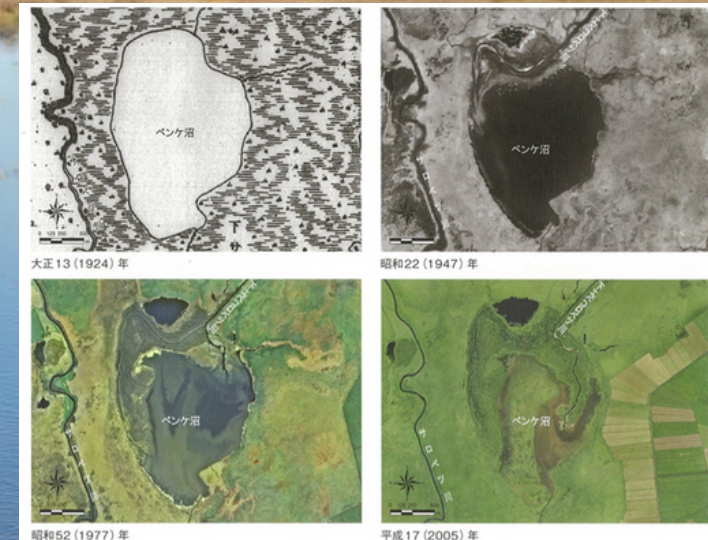
ペンケ沼は、道北最大のガンカモ類の渡りの中継地です。特に、オオヒシクイの中継地としては国内最大になっています。多くの渡り性水鳥が定期的に飛来すること、絶滅危惧種のカリガネが飛来すること等から、その重要性が認められ、ラムサール条約登録地に指定されています。



ペンケ沼の課題

消失の危機

昭和初期に下エベコロベツ川等が人工的にペンケ沼に接続され、沼の土砂堆積量が増加しました。その結果、沼の面積は約半分に減少しました。このままでは沼自体が消失する恐れがあります。



空中写真でみるペンケ沼の変遷（環境省より）

雪融け時の氾濫原



雪融け時の氾濫した牧草地に集まるハクチョウ類
ガン・ハクチョウ類は、4～5月頃と9～10月頃にペンケ沼周辺の牧草地で見られます

湿原化する沼



↑ 雨不足により渇水し湿原化するペンケ沼(2021年9月)



沼が消失すると、僕たちの道北の中継地が失われてしまいます

ゴミの流入



空から見ると一見綺麗なペンケの中州には河川から流入したゴミが大量に堆積しています。



これらのゴミは、ペンケ沼の国立公園としての景観を損ねる他、沼を利用する生物が誤飲する可能性があります。